

## 令和5年度 学校関係者評価報告

### 1 本年度の重点目標

- |  |
|--|
| (1) 基本的な生活習慣の確立と他者を理解できる豊かな心の育成<br>社会で通用する礼節の定着のもと、自分と他者の違いを理解し、うけいれながら人と関わる力を持った自立できる人間を育てる |
| (2) 確かな学力の養成<br>日々の授業を大切に基礎学力の定着を図り、自ら学ぶ態度を育成して主体的に課題を解決する力を養成する                             |
| (3) 進路第一希望の達成<br>「志教育」年間指導計画に基づき、高い志を持って意欲的に努力する生徒を育てる                                       |
| (4) 学校生活満足度の向上<br>本校に対するニーズを踏まえ、生徒が満足感と充実感を持てる学校づくりを推進する                                     |
| (5) 働きがいのある職場環境づくり<br>生徒と向き合う時間を大切に、情報を交換し、協力しながら、充実感のある職場づくりを行う                             |

### 2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している    B おおよそ達成している    C あまり達成していない    D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 主体的な学習姿勢の創出	B	コロナ禍による制限もあり、積極的に参加型授業に移行できない事情はあったが、先生方が様々な工夫で授業を展開し、生徒からの評価も高かった。	A	B
	② 豊富な知識、豊かな教養を身につけた生徒の育成	B	総合的な探究の時間における、自分の将来や意見のプレゼンや、学校説明会での中学生へ説明等の機会を活用し、プレゼン力は育成されてきている。	A	B
	③ 学びあう教職員集団づくり	A	・年2回の生徒による授業評価をもとに全教員が授業改善に取り組んだ。 ・全教員が互見授業を実施。	A	A
学校関係者評価委員会における意見		・自己分析をし、自分の良さ悪さを知り自分に磨きをかけて欲しい。 ・コミュニケーション力と同じように、プレゼン力を高める。 ・学力状況調査の結果が芳しくないようだが、できている生徒、できていない生徒の差が大きいのではないか。 ・3年生の進路実績が飛躍的に向上したのでは素晴らしい。			
生徒指導	① 様々な場面において、対話を大切にし、コミュニケーション能力の育成及び社会性を涵養	B	総合的な探究の時間等で行った各種発表では、プレゼンテーション能力の伸長とともに、質問力の養成にも取り組んでいるが、十分な力はまだ付いてはいない。	A	B
	② モラルの向上とマナーの定着	B	学校アンケートでは、挨拶について生徒は95.7%が肯定的であるが、保護者81.8%・教職員80.6%と認識のずれがあるので検証が必要である。	B	A
	③ 部活動の活性化とボランティア部の活動	B	外部指導者(硬式野球・剣道・ソフトテニス・吹奏楽)の活用により成果あり。	A	B
学校関係者評価委員会における意見		・発表会に参加させていただいたが、自己分析、プレゼン力に欠けると感じた。 ・挨拶が無く、声も小さくなってきている。 ・コロナでの規制が大幅に緩和され、地域に出る場面も増えると思うので、部活動などによる支援法に加え、ボランティアも地域でどんどん進めていただきたい。			
進路指導	① キャリア教育の充実	B	・進路だよりを毎月1日発行で継続中。手引きは進路説明会にも保護者が持参し、活用が定着。・市役所や栗原市地域おこし協力隊等の協力を得て、探究活動を行ったことは評価された。	A	B
	② 外部教育力の有効活用	A	・講座・行事で外部講師を招聘。教育活動にプラスの効果あり。	A	A
	③ 進路実績の向上	A	・国公立大に14名合格。 ・国家公務員(検察庁)など、のべ18名が合格 ・看護学校5名	A	A
学校関係者評価委員会における意見		・様々なところへ出向きいち早く知りたい自分を見つけることが大事。 ・3年間の成果がきちんと結果となって現れて素晴らしいです。 ・家庭や学校以外の大人の話の聞ける機会を持ち続けていただきたい。			
上・学校生活満足度の向上 働きがいのある職場づくり	① 安全・安心な学校づくり	B	・月1回の定例安全点検を計画しているが十分な実施とはなっていない。 ・教育相談、定期的ないじめアンケートで早期対応ができています。また、外部機関との連携もできた。	B	A
	② 愛校心の醸成	A	・第11回築高検定(問題作成は管理職)は全生徒・教職員で実施し好評であった。 ・「人のためプロジェクト」の見直しの検討を開始した。	A	A
	③ コンプライアンス・チェックシート活用による服務規律の確保	A	毎月のコンプライアンス・チェックシートによる確認を始め、服務規律は確保されている。	A	A
学校関係者評価委員会における意見		・いじめの早期対応。SNSでの表面化しづらい件も調査・対応をお願いします。 ・築高便利楽しみに拝読しております。写真が多くて分かりやすい。 ・先生方の健康、メンタルのサポートができるよう、ますます力を入れていただきたい。			